

国会囲み「再稼働反対」

反原発デモに2万人以上

福島第一原発事故から四年になるのを前に、反原発を呼び掛ける集会とデモが前日、国会周辺などで開かれた。毎週金曜に首相官邸前で脱原発を訴える首都圏

反原発連合など三団体が主催。雨上がりの寒空の下、約二万三千人（主催者発表）が「再稼働反対」と声をからした。

デモに先立ち日比谷野外音楽堂（東京都千代田区）で開かれた集会では、福島県をはじめ原発のある地域からの参加者が登壇して発言。事故まで福島で農業を営んでいた宇宙飛行士の秋山豊寛さん（モコ）は「私もふるさとを離れた一人」とあいさつ。「いまが歴史の転換点で、踏ん張らないと、子孫への責任が果たせない。全国の怒りを国会にぶつけよう」と呼び掛けた。

最後には、会場の全員が「原発反対」の赤いヒモを一斉に掲げた。その後、国会までの約一キロを進行し、国会の周囲をぐるりと取り囲んだ。